

CCDタッチスキャナ
Z - 3080シリーズ

日本語訳 設定マニュアル

第1版

Rev1.3

はじめにお読み下さい

対象機種

型式	インターフェース
Z-3080-USB	USB キーボードインターフェース

目次

はじめに 本書について	1	バーコードの読取条件	15
あらかじめご承知いただきたい事項	1	UPC EAN JAN	15-18
改訂履歴	1	Code39	19-20
設置方法	2	Interleaved2of5, ITF	21
動作環境	2	NV-7(Codabar)	22
接続の概要	2	Code128	23
コンピュータへの接続	2	Code93	24
WindowsXP/2000/Me	2	MSI/Plessey	24
Windows98SE	3	IATA	24
接続した後の確認	3	データ編集	25
操作方法	4	前置文字 後置文字	25
バーコードの読み取り方	4	データの削除	25
動作の確認方法	4	コード識別子の付加 (初期値)	25
設定の方法(フローチャート)	5	コード識別子の付加 (ユーザー指定)	26
設定の例	6	付録 1	
データを出力する順番	7	アスキーコード表	27
初期設定の内容	8	付録 2	
トラブルシューティング	9	Full Ascii Code39表 (値設定)	28-32
設定用バーコード	10	付録 3	
システム	10	クイックメニュー	33
設定開始	10	TABを付加する (日本語 Windows用)	
初期化	10	付録 4	
インターフェースの設定	10	テスト用バーコード	34
設定中止	10	お問い合わせ先	35
設定終了	10		
動作環境	11		
キーボードレイアウト	11		
ファンクションキー変換	11		
スキャナー制御 (1)	12		
トリガーの設定	12		
スキャナー制御 (2)	13		
ブザー 音程	13		
ブザー 長さ	13		
スキャナー制御 (3)	14		
ターミネータ (無し、ENTER TAB)	14		



はじめに 本書について

- ・ 本書は主に使用する機能変更の設定用バーコードメニューを、日本語に翻訳したものです。

あらかじめご承知いただきたい事項

- ・ 本書は再配布しておりません。設定を実行した後は、大切に保管してください。

改訂履歴

第1版	日本語訳 設定マニュアル 作成
第1版 Rev1.1	<p>動作環境-キーボードのレイアウト-「日本語 USB キーボード」を追加。 ファームウェアバージョン "Version AM 2.14 04/18/2006" (RoHS 指令対応)以降の製品にご使用いただける設定です。</p> <p>[バージョンの見分け方] 1. 製品本体のラベルシールで見分ける (a)製造番号ラベル枠内に、図示した絵記号がある製品は RoHS 指令対象製品です。日本語 USB キーボードの設定を使用できます。</p>  <p>(b)製造番号ラベルの外側に図示したシールを貼り付けているものは RoHS 指令未対応です。日本語 USB キーボードの設定はご使用いただけません。</p>  <p>絵記号は WEEE に基づく表示です。</p> <p>2. バージョン情報をパソコンに出力する (1)メモ帳 (テキストエディタ) などを開き、英文 PROGRAMING CARD の バーコードを読み取ります。 (2)[Start of Configuration]-[Version]を読み取ります。 バージョン情報がパソコンに表示されます。 "04/18/2006" より古い日付が表示されている場合は日本語 USB キーボ ードの設定はご使用いただけません。</p>
第1版 Rev1.2	<p>(1)お問い合わせ先を改訂。本社移転のため。 (2)トラブルシューティングを改訂。</p>
第1版 Rev1.3	動作環境-キーボードのレイアウト-インターナショナルに「RoHS 指令対応 製品用」の設定バーコードを追加。

設置方法

動作環境

コンピュータ	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V マシン)
OS	WindowsXP/2000/Me/98SE
接続するポート・コネクタ	USB(USB ver1.1 または USB2.0)、USB-A コネクタ
制限事項	USB インターフェースは全ての環境での動作を保証するものではありません。 WindowsNT/95 は USB をサポートしていませんので動作しません。

ドライバ	USB HID(ヒューマンインターフェース)クラスドライバ
ドライバの場所	Windows XP/2000 では PC が自動的にドライバをインストールします。 USB HID クラスドライバはコンピュータ (Windows) のハードディスク内のシステムフォルダに格納されています。 製品にドライバの CD-ROM などは同梱されていません。 * コンピュータの状態によっては、OS の CD-ROM が必要になります。

接続の概要

コンピュータの起動

バーコードリーダー(スキャナー)の接続

ドライバのインストール

WindowsXP/2000/Me : OS が自動インストールします

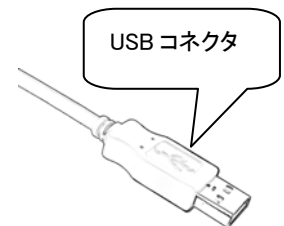
Windows98SE : マウスとキーボードを使用してインストールウィザードを操作します

接続(セットアップ)の完了

接続方法 (コンピュータの OS に合った説明をお読みください)

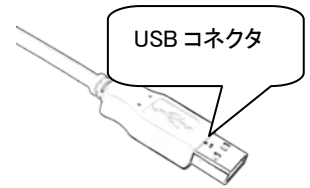
WindowsXP/2000/Me

- (1) スキャナーの USB コネクタをコンピュータの USB コネクタへ接続します。
コンピュータ本体の USB コネクタに直接接続してください。
- (2) スキャナーに電源が入ります。
起動時のブザーが鳴ります。
- (3) **Windows が自動的に USB ドライバのインストールを開始します。**
- (4) コンピュータの画面に、「**新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました**」と表示されるまでお待ちください。表示されると、ドライバのインストールは完了です。



Windows98SE

- (1) スキャナーの USB コネクタをコンピュータの USB ポートへ接続します。
コンピュータ本体の USB コネクタに直接接続してください。
- (2) スキャナーに電源が入ります。
起動時のブザーが鳴ります。
- (3) コンピュータの画面に「ドライバの接続ウィザード」ダイアログ画面が開きます。
「このデバイス用の新しいドライバを探しています。しばらくお待ち下さい」というメッセージが表示されたら「次へ」をクリックします。
- (4) 「検索方法を指定して下さい」と表示されたら
「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」をチェックし、「次へ」をクリックします。
- (5) ドライバの検索先指定ダイアログが表示されます。
「検索場所の指定」をチェックし、白い枠内に半角で「C:\WINDOWS\INF」と入力します。
入力したら「次へ」をクリックします。
- (6) 「USB ヒューマンインターフェイスデバイス」「このデバイスに最適なドライバをインストール準備ができました」と表示されたら「次へ」をクリックします。
- (7) 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました」と表示されたら「完了」をクリックします。
ドライバのインストールが完了します。

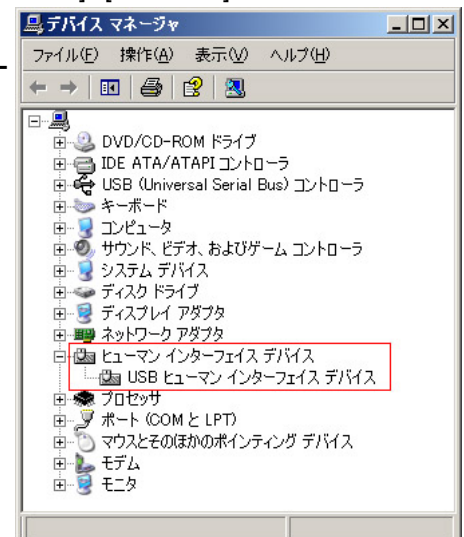


備考 パソコンの環境によっては、OS (Windows98SE) の CD-ROM を求めるメッセージが表示されることがあります。あらかじめ OS の CD-ROM をご用意ください。

接続した後の確認

- (1) スキャナー下側(裏側)のトリガースイッチを押して、読み取り窓から赤色 LED (ランプ) が投光されることを確認してください。
- (2) Windows がスキャナーを認識していることを確認します。
Windows のタスクバー-[スタート]-([設定)]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を開きます。
- (3) 「ヒューマンインターフェイスデバイス-USB ヒューマンインターフェイスデバイス」が表示されていることを確認します。

備考 USB キーボードや USB マウスを接続していると、複数の USB ヒューマンインターフェイスデバイスが表示されます。



操作方法

[バーコードの読み取り方]

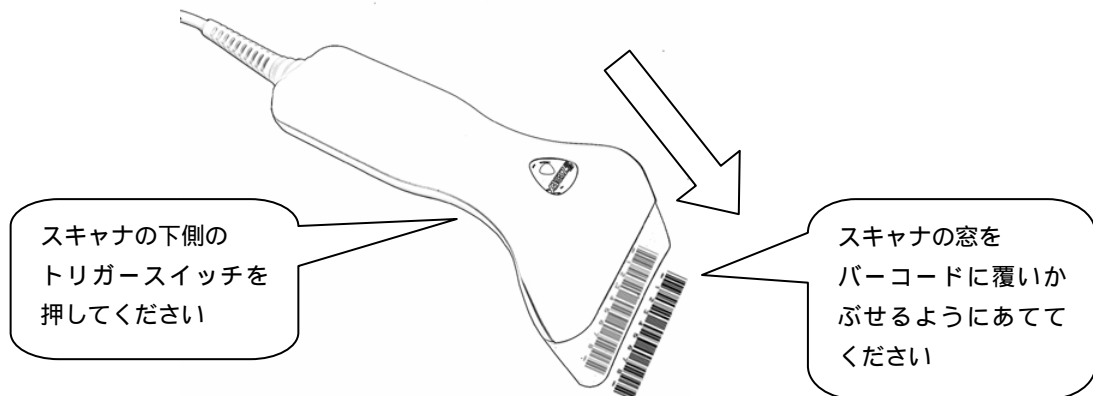
- (1) スキャナのトリガースイッチ（本体下部）を押します。
- (2) 読み取り窓をバーコードにあてます。
バーコードの中心に読み取り窓の中心に位置するようにあてます（例図1）。

操作のコツ

本製品はバーコードに接触（タッチ）した状態で読み取ります。
バーコードの左右両端が収まるように、読み取り窓で覆ってください。

- (3) バーコードを読み取ると、読み取り確認ブザーが鳴り、データがコンピュータに出力されます。

[例図 1]



バーコード規格：Code39

*（アスタリスク）は Code39 のスタート・ストップキャラクタです。初期設定では出力しません。



[動作の確認方法]

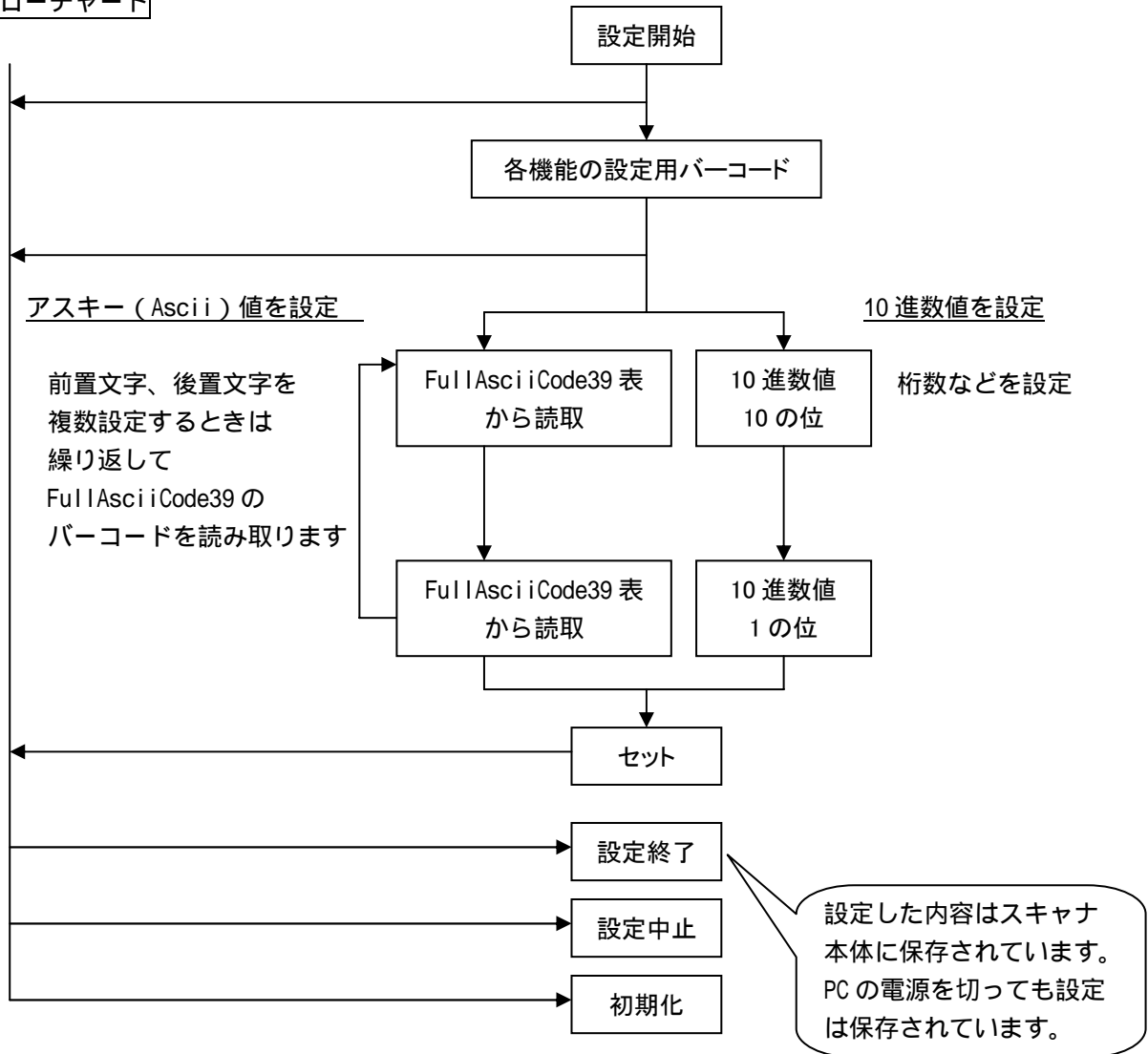
- (1) Windows の画面上にあるタスクバーから[スタート]-[(すべての)プログラム][アクセサリ]-[メモ帳]を開きます。
- (2) スキャナでバーコードを読み取ります。[メモ帳]にバーコードデータが出力・表示されます。

問題が無ければ、必要に応じてスキャナの設定を変更し、運用を開始してください。

設定の方法

スキャナの機能を変更するには、スキャナで本書の「設定用バーコード」を読み取ります。
読み取る順番は、フローチャートに示す通りです。
必要に応じて設定を変更してください。

フローチャート



設定の例

例 1

Interleaved2of5 で 4 桁のバーコードを読ませるために、最短の読み取り桁数に “04” を設定します。

* 初期設定は 6 桁以上の Interleaved2of5 を読み取ります (最短の読み取り桁数の値が 06)。

読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了	設定開始 (各ページ共通)
2	バーコード読み取り条件- Interleaved2of5	最短の読み取り桁数
3	FullAsciiCode39 表	“0” (Hex「30」)
4	FullAsciiCode39 表	“4” (Hex「34」)
5	FullAsciiCode39 表	セット
6	設定の開始と終了	設定終了 (各ページ共通)

例 2

前置文字 1 つ目にアスキー文字 “A” (Hex「41」) を設定します。

後置文字 2 つ目にアスキー文字 “B” (Hex「42」) を設定します。

読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了	設定開始 (各ページ共通)
2	データ編集	前置文字
3	FullAsciiCode39 表	“A” (Hex「41」)
4	FullAsciiCode39 表	“B” (Hex「42」)
5	FullAsciiCode39 表	セット
6	設定の開始と終了	設定終了 (各ページ共通)

例 3

バーコードデータの後に TAB を 2 回出力する*。



読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了	設定開始 (各ページ共通)
2	データ編集	後置文字
3	FullAsciiCode39 表	“HT” (Hex「09」)
4	FullAsciiCode39 表	“HT” (Hex「09」)
5	FullAsciiCode39 表	セット
6	設定の開始と終了	設定終了 (各ページ共通)
7	設定の開始と終了	設定開始
8	動作環境 ターミネータ	無し
9	動作環境 ファンクションキー変換	変換する
10	設定の開始と終了	設定終了 (各ページ共通)

* ファンクションキー (「F1～F12」「TAB」「ENTER」など) を設定する場合は「ファンクションキー変換」を「変換する」に設定します。

* キーボードレイアウトを「インターナショナル」に設定した場合、この例を参考に、TAB を 1 回設定してください。(P11 参照)

データを出力する順番

前置文字、後置文字、コード識別子、バーコードデータ、ターミネータの出力順を下記の「データ出力順の表」に示します。

データ出力順の表

(左側が先頭)

設定項目	出力データ				
	前置文字 Header (Preamble)	コード識別子 IdentifierCode	バーコード データ	後置文字 Tailer (Postamble)	ターミネータ Message Terminator
桁数	0-10	1*	-	0-10	1
設定の例	-----				
スキャンする FullAsciiCode39	A B	M		C HT	(ターミネータ選択)
キー出力	A B	M	1234ABCD	C TAB	無し ENTER TAB

* EAN-8 (JAN-8) のコード識別子は、初期値では「FF」です。ユーザー設定の桁数は1桁です。

初期設定の内容

「メモ」欄に設定した内容を記入して、控えなどにしてください。

システムメニュー

項目	初期設定	メモ
インターフェースの設定	未設定*	*初期化した後はUSBに設定してください

動作環境設定

項目	初期設定	メモ
キーボードのレイアウト	英語キーボード	
ファンクションキー変換	変換しない	

スキャナー制御

項目	初期設定	メモ
トリガーの設定	トリガー	
ブザー 音程	中	
ブザー 長さ	中	
ターミネータ	ENTER	

バーコード読み取り条件*

バーコード規格	コード読み取り	読み取り桁数		コード識別子 文字	メモ
		最短	最長		
UPC-A	読み取る	-	-	A	
UPC-E	読み取る	-	-	E	
EAN-13 , JAN-13	読み取る	-	-	F	
EAN-8 , JAN-8	読み取る	-	-	FF	
Code39	読み取る	1	32	M	
Interleaved 2 of 5	読み取る	6	32	I	
NW-7(Codabar)	読み取る	6	32	N	
Code128	読み取る	1	32	K	
Code93	読み取る	1	32	L	
MSI/Plessey	読み取らない	4	32	P	

*詳細な設定項目はそれぞれのバーコード読み取り条件のページをご覧ください。

前置文字“Header(Preamble)” / 後置文字“Tailer(Postamble)”

項目	値	メモ
前置文字	設定なし(最大10桁まで)	
後置文字	設定なし(最大10桁まで)	
先頭桁削除	設定なし(最大10桁まで)	
後尾桁削除	設定なし(最大10桁まで)	

トラブルシューティング (故障とお思いになる前に)

「故障かな?」と思われる症状が発生した場合は、以下の表を確認し、対策を実施してください。
対策を実施しても解決しない場合は当社までお問い合わせください。

症状	原因	対策
スキャナが無反応です	電源のエラー、設定のエラーなど	光源赤色 LED(読み取り窓のランプ)が投光する場合は、設定メニューで「初期化」を実行してください。次に「USB キーボードインターフェース」設定を実行してください。
バーコードを読み取らない	スキャナがバーコードからはなれている	バーコードに読み取り窓を接触させてください。
	バーコードの幅が 70mm 以上ある	本製品の仕様上、読み取り窓の幅(80mm)いっぱいのバーコードほど読み取りにくくなります。
	そのバーコードの種類が「読み取らない」に設定されている。	「読み取る」に設定してください。
	桁数の設定が合っていない。	「読み取り桁数」の設定を変更してください。(最短の読み取り桁数を 1 桁からに変更する、など)
バーコードデータが出力されない	インターフェースの設定が間違っている。	「USB キーボードインターフェース」設定を実行してください。
バーコードデータの 大文字小文字が入れ 替わって出力される	PC のキーボード CapsLock が大文字入力に設定されている。 またはキーボードレイアウトが「英語 USB キーボード」のため。	PC キーボードの CapsLock を小文字入力に切り替えてください(Shift+CapsLock)。 またはスキャナのキーボードレイアウトを「インターナショナル」に設定してください。 *「インターナショナル」に設定するとターミネータの TAB が無効になります。 TAB を使用する場合は前置文字、後置文字に TAB を設定してください。 (P6 設定の例 参照)
特殊文字(記号)が異なる文字で出力される	キーボードレイアウトが「英語 USB キーボード」のため。	スキャナのキーボードレイアウトを「インターナショナル」に設定してください。 *「インターナショナル」に設定するとターミネータの TAB が無効になります。 TAB を使用する場合は前置文字、後置文字に TAB を設定してください。 *特殊文字についてはアスキーコード表(巻末)をご参照ください。 (P6 設定の例 参照)

トラブルシューティング (故障とお思いになる前に)


「故障かな?」と思われる症状が発生した場合は、以下の表を確認し、対策を実施してください。
対策を実施しても解決しない場合は当社までお問い合わせください。

症状	原因	対策
スキャナが無反応です	電源のエラー、設定のエラーなど	光源赤色LED(読み取り窓のランプ)が投光する場合は、設定メニューで「初期化」を実行してください。次に「USB キーボードインターフェース」設定を実行してください。
バーコードを読み取らない	スキャナがバーコードからはなれている	バーコードに読み取り窓を接触させてください。
	バーコードの幅が70mm以上ある	本製品の仕様上、読み取り窓の幅(80mm)いっぱいのバーコードほど読み取りにくくなります。
	そのバーコードの種類が「読み取らない」に設定されている。	「読み取る」に設定してください。
	桁数の設定が合っていない。	「読み取り桁数」の設定を変更してください。(最短の読み取り桁数を1桁からに変更する、など)
バーコードデータが出力されない	インターフェースの設定が間違っている。	「USB キーボードインターフェース」設定を実行してください。
バーコードデータの大文字小文字が入れ替わって出力される	PCのキーボードCapsLockが大文字入力に設定されている。またはキーボードレイアウトが「英語 USB キーボード」のため。	PCキーボードのCapsLockを小文字入力に切り替えてください(Shift+CapsLock)。またはスキャナのキーボードレイアウトを「インターナショナル」に設定してください。 *「インターナショナル」に設定するとターミネータのTABが無効になります。TABを使用する場合は前置文字、後置文字にTABを設定してください。 (P6 設定の例 参照)
特殊文字(記号)が異なる文字で出力される	キーボードレイアウトが「英語 USB キーボード」のため。	ファームウェア Version AM 2.14 04/18/2006 (RoHS 指令対応) 以上の製品: スキャナのキーボードレイアウトを「日本語 USB キーボード」に設定してください。 上記ファームウェアより前の製品: スキャナのキーボードレイアウトを「インターナショナル」に設定してください。 *「インターナショナル」に設定するとターミネータのTABが無効になります。TABを使用する場合は前置文字、後置文字にTABを設定してください。 *特殊文字についてはアスキーコード表(巻末)をご参照ください。 *ファームウェアについては改訂履歴を参照してください。


設定用バーコード

システムメニュー


設定開始

設定モードを開始します。	 * - - *
--------------	---

初期化

工場出荷の設定に初期化されます。 *初期化した後は、次項の「USB キーボードインターフェイス」を必ず設定してください。	 * - - *
---	---

インターフェイスの設定

USB キーボードインターフェイス インターフェイスがUSB キーボードインターフェイスに設定されます。初期化した後は、必ずこの設定を実行してください。	 * K E 9 7 *
---	--

設定中止

設定を中止し、設定モードを終了します。	 * + + *
---------------------	---

設定終了

設定モードを終了します。	 * + - *
--------------	---

設定開始



動作環境

印は、出荷時初期設定です。

キーボードのレイアウト *

<p>インターナショナル(ALT method)</p> <p>CapsLock とキーボードレイアウトを無視して バーコードのキャラクタを出力します。</p>	<p>RoHS 指令対応製品用</p>  <p>旧製品 (RoHS 指令未対応) 用</p> 
<p>英語 USB キーボード (US)</p>	
<p>日本語 USB キーボード</p> <p>RoHS 指令対応の製品にご使用いただけます。</p>  <p>製造番号ラベル内に絵記号ある製品。 別シールで貼り付けた製品は本設定 を使用できません。</p>	

- * 1) 「英語 USB キーボード (US)」の設定について：
NW-7、Code39、Code128 に特殊文字 (記号) が含まれている場合、一部の特殊文字は日本語 Windows では異なる文字で出力されます。詳細は「アスキーコード表 (巻末)」を参照して下さい。
- 2) 「英語 USB キーボード (US)」 「日本語 USB キーボード」の設定について：
PC のキーボード入力をアルファベット大文字 (A-Z) で使用している (CapsLock のランプ点灯) 場合、
バーコードに含まれたアルファベットの 大文字と小文字 が入れ替わります。
- 3) バーコードのアルファベットキャラクタをそのまま出力するには、「インターナショナル」を
設定します。ただし、ターミネータの TAB や ENTER がアプリケーションによっては受付されなくな
ります。次の「ファンクションキー変換」を「変換する」に設定して下さい。

ファンクションキー変換 *

<p>変換する</p>	
<p>変換しない</p>	

- * ファンクションキー変換を「変換する」に設定した場合の機能は次の通りです。
- 1) Code128 などに表示されたアスキーコードの “0x00” から “0x1F” までを、
スキャナーに割り当てられたファンクションキーに変換してコンピュータに出力します。
- 2) 前置文字、後置文字にアスキーコードの “0x00” から “0x1F” を設定したとき、
割り当てられたファンクションキーに変換されて出力します。
割り当てられるキーについては「アスキーコード表 (巻末)」を参照して下さい。

設定終了



設定開始



スキャナー制御(1)

印は、出荷時初期設定です。

トリガーの設定

トリガーによる読取窓の光源赤色 LED の点灯 / 消灯の動作を設定します。

トリガー[トリガー読み + 正読後消灯] トリガーを押している間、光源 LED が点灯。 バーコードを読み取った後、光源 LED が消灯。	
オート[連続点灯 + トリガー無効] 電源が入ると光源 LED が連続点灯。 バーコードを読み取った後も光源 LED が投光。 同じバーコードに光源 LED が投光されている場合、二度読みしません。	
オルタナティブ[連続点灯 + トリガー点灯/消灯] 電源が入ると光源 LED が連続点灯。 バーコードを読み取った後も光源 LED が点灯。 トリガーを押して点灯と消灯切り替え。	
リピート[連続点灯 + トリガー無効] 電源が入ると光源 LED が連続点灯。 バーコードを読み取った後も光源 LED が投光。 同じバーコードに光源 LED が投光されている場合、連続で読み取ります。	

設定終了



設定開始






スキャナー制御(2)

印は、出荷時初期設定です。

ブザー 音程

 * G R O 1 *	中	 * G R O 2 *	低
 * G R O 3 *	高	 * G R O 5 *	ブザー 無し

ブザー 長さ

 * G R 1 O *	長	 * G R 1 1 *	中
 * G R 1 2 *	短	 * G R 1 3 *	最短

設定終了



設定開始



スキャナー制御(3)

印は、出荷時初期設定です。

ターミネータ*

無し	A barcode with the characters '* D T 1 1 *' printed below it.
ENTER	A barcode with the characters '* D T 1 3 *' printed below it.
TAB	A barcode with the characters '* D T 1 5 *' printed below it.

* キーボードレイアウトが「インターナショナル」に設定された場合、TABは無効になります。
「インターナショナル」設定時のTAB設定方法は、「動作環境(P11)」「設定の例(P6)」を参照してください。

設定終了



設定開始



バーコードの読取条件

UPC / EAN (JAN)

印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

*「JAN」について設定する場合は「EAN」の項目を使用します。

UPC / EAN / JAN 読み取る	
UPC / EAN / JAN 読み取らない	
EAN-8 と EAN-13 を読み取る	
UPC-A と EAN-13 を読み取る	
UPC-A と UPC-E を読み取る	
UPC-A のみ読み取る	
UPC-E のみ読み取る	
EAN-13 のみ読み取る	
EAN-8 のみ読み取る	

アドオン読み取り

アドオン読み取らない	
読み取る 5桁のみ*	
* 新雑誌コード を読み取る時に設定します	
読み取る 2桁のみ	
読み取る 5桁と2桁	

設定終了



設定開始



UPC-A オプション

印は、出荷時初期設定です。

UPC-A を EAN-13 に変換

変換する 先頭に "0" を付加し 13 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	
変換しない 12 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	

チェックデジットの出力

出力する	
出力しない	

ナンバーシステムキャラクタの出力

出力する 12 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	
出力しない 11 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	

「ナンバーシステムキャラクタ」とは 12 桁中の 1 桁目のキャラクタです。

設定終了





設定開始

UPC-E オプション



印は、出荷時初期設定です。

UPC-E を UPC-A に変換(8桁を 12桁に変換)

<p>変換する</p> <p>データに“0”を挿入し、12桁に変換してデータを出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合</p>	
<p>変換しない</p>	

ナンバーシステムキャラクタの出力

<p>出力する</p> <p>8桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合</p>	
<p>出力しない</p> <p>7桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合</p>	

「ナンバーシステムキャラクタ」とは8桁中の1桁目のキャラクタです。

チェックデジットの出力

<p>出力する</p>	
<p>出力しない</p>	

設定終了





設定開始

EAN-13, JAN-13 オプション





印は、出荷時初期設定です。

ISBN 変換

<p>変換する</p> <p>先頭が " 978 " で始まる 13 桁の書籍コードを、10 桁の ISBN コードに変換します。*</p>	
<p>変換しない</p>	

*先頭 3 桁 " 978 " を取り除き、最終 1 桁を ISBN 用チェックデジットに変換します。



チェックデジットの出力

<p>出力する</p>	
<p>出力しない</p>	

EAN-8, JAN-8 オプション

印は、出荷時初期設定です。

チェックデジットの出力

<p>出力する</p>	
<p>出力しない</p>	

設定終了



設定開始



Code39(1)

印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	
読み取らない	

出力フォーマット

標準	
フルアスキー FullAscii Code39 として読み取りと出力を実行 します。	

スタート/ストップの出力

出力する Code39 のスタート/ストップは “ * ”。 キーボードレイアウトが「インターナショナル」のときにのみ*で表示されます。	
出力しない	

チェックデジット

チェックデジットの算出方法はモジュラス43です。

検査する/出力する チェックデジットが含まれる Code39 のみ読み 取ります。	
検査する/出力しない チェックデジットが含まれる Code39 のみ読み 取ります。	
検査しない チェックデジットの有無にかかわらず読み取 ります。	

設定終了





設定開始



Code39(2)

印は、出荷時初期設定です。

値設定

<p>最長の読み取り桁数 値設定：01-32 / 単位：1桁 初期値：32（32桁）</p>	 <p>次に値を設定</p>
<p>最短の読み取り桁数 値設定：01-32 / 単位：1桁 初期値：01（1桁）</p>	 <p>次に値を設定</p>

設定終了



設定開始



Interleaved 2 of 5, ITF

印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	
読み取らない	

チェックデジット

チェックデジット算出方法はモジュラス10ウェイト3です。

検査しない	
検査する / 出力する	
チェックデジットが含まれる Interleaved2of5 のみ読み取ります。	
検査する / 出力しない	

値設定

Interleaved2of5 の桁数は偶数桁です。値設定は偶数を設定します。

最長の読み取り桁数 値設定：02-32 / 単位：2桁(偶数桁) 初期値：32 (32桁)	 次に値を設定
最短の読み取り桁数 値設定：02-32 / 単位：2桁(偶数桁) 初期値：06 (6桁)	 次に値を設定

設定終了



設定開始

NW-7 (Codabar)



印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	
読み取らない	

スタート/ストップの出力

出力しない	
ABCD / ABCD を出力する	

値設定

最長の読み取り桁数 値設定：01-32 / 単位：1桁 初期値：32 (32桁)	 次に値を設定
最短の読み取り桁数 値設定：01-32 / 単位：1桁 初期値：06 (6桁)	 次に値を設定

設定終了





設定開始



Code128

印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	 * R C O 6 *
読み取らない	 * R D O 6 *

値設定

最長の読み取り桁数 値設定：01-32 / 単位：1桁 初期値：32（32桁） [備考] Code128のチェックデジット（1桁分）は含みません。データの桁数を設定します。	 * 1 8 0 6 * 次に値を設定
最短の読み取り桁数 値設定：01-32 / 単位：1桁 初期値：01（1桁） [備考] 桁数については最長の設定を参照して下さい。	 * 1 8 0 7 * 次に値を設定

設定終了



- 2 3 -

設定開始

Code93



印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	
読み取らない	

MSI/Plessey

印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る *	
読み取らない	

* 「読み取る」の設定は次の通りです。 ダブルC/D MOD10/MOD10 検査する/出力しない

IATA

印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	
読み取らない	

設定終了



設定開始

データの編集





印は、出荷時初期設定です。



前置文字 / 後置文字 *

<p>前置文字 (Header)</p> <p>値設定 : 00-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)</p> <p>[備考] データの最大設定数は 10 キャラクタまで。</p>	 <p>次に値を設定</p> <p>設定したキャラクタを消去する場合は 次に「セット」「設定終了」をスキャン </p>
<p>後置文字 (Tailer)</p> <p>値設定 : 00-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)</p> <p>[備考] データの最大設定数は 10 キャラクタまで。</p>	 <p>次に値を設定</p> <p>設定したキャラクタを消去する場合は 次に「セット」「設定終了」をスキャン</p>

データの削除

<p>先頭から削除する</p> <p>値設定 : 00-10 / 単位 : 1 桁 初期値 : 00 (削除なし)</p>	 <p>次に値を設定</p>
<p>末尾から削除する</p> <p>値設定 : 00-10 / 単位 : 1 桁 初期値 : 00 (削除なし)</p>	 <p>次に値を設定</p>

コード識別子の付加 (1)

<p>付加しない</p>	
<p>付加する</p> <p>初期値で設定されたキャラクタを全種類のバーコードに付加します。</p>	

設定終了



設定開始



印は、出荷時初期設定です。

コード識別子の付加(2) ユーザー指定

「Full Ascii Code39 表」から任意の文字選択して設定します。

Code39 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : M	 次に値を設定
Interleaved2of5 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : I	 次に値を設定
UPC-E 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : E	 次に値を設定
UPC-A 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : A	 次に値を設定
EAN-13/JAN-13 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : F	 次に値を設定
EAN-8/JAN-8 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : FF	 次に値を設定
NW-7(Codabar) 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : N	 次に値を設定
Code128 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : K	 次に値を設定
Code93 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : L	 次に値を設定
MSI/Plessey 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : P	 次に値を設定

設定終了



付録 1

アスキーコード表 “ Ascii Code Table ”

L \ H	0		1		2	3	4	5	6	7
	0	1	0	1						
0	Null	5(num)	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	Ins	F1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	Del	F2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	Home	F3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	End	F4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	Up	F5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	Down	F6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	Left	F7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BackSpace	F8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	TAB	F9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	Enter	F10	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	Right	F11	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	PgUp	F12	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	ENTER(num)	ESC	CR	GS	-	=	M]	m	}
E	PgDn	無し	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	Shift	無し	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

ファンクションキー変換

[アスキーコード表について]

言葉の意味は次の通りです。 H=High (16 進数上位) L=Low (16 進数下位)

[文字について]

- ・ “ 0x5C ” は ISO 規格では “ バックスラッシュ ” ですが日本語環境では ANK に基づく “ ¥ ” (円記号) になります。
- ・ “ 0x7E ” は ISO 規格では “ オーバーライン ” ですが日本語 Windows 環境では “ ~ (チルダ) ” が表示されます。

[網掛け部分について]

- ・ 前置文字、後置文字に “ 0x01 ” から “ 0x1F ” までの値を設定すると、表に示したファンクションキーに変換されます。(PC の環境によっては変換が無効となる場合があります)
ファンクションキーを設定する場合は 「 動作環境 」 の 「 ファンクションキー変換 」 を 「 変換する 」 に設定してください。

[日本語 Windows での特殊文字の出力について]

スキャナのキーボードレイアウトが 「 英語 USB キーボード 」 の場合、下記枠内の特殊文字は異なるキャラクタで出力されます (計 20 個) 。 特殊文字を出力するには 「 インターナショナル 」 に設定を変更してください。

` @ { } [] + : * " & ' () = | ¥ _ ^ ~

設定開始



付録 2

Full Ascii Code39 表(1)



Code39	Ascii	HEX	Code39	Ascii	HEX
	キ-変換 NUL 無し	00		Shift	0F
	SOH Ins	01		DLE 5(num)	10
	STX Del	02		DC1 F1	11
	ETX Home	03		DC2 F2	12
	EOT End	04		DC3 F3	13
	ENQ Up arrow	05		DC4 F4	14
	ACK Down arrow	06		NAK F5	15
	BEL Left arrow	07		SYN F6	16
	BS Back space	08		ETB F7	17
	HT Tab	09		CAN F8	18
	LF Enter Alpha numeric	0A		EN F9	19
	VT Right arrow	0B		SUB F10	1A
	FF PgUp	0C		ESC F11	1B
	CR Enter(num)	0D		FS F12	1C
	SO PgDn	0E		GS ESC	1D

セット




設定終了



設定開始



Full Ascii Code39 表(2)

Code39	Ascii	HEX	Code39	Ascii	HEX
	RS	1E		-	2D
	US	1F		.	2E
	SP	20		/	2F
	!	21		0	30
	"	22		1	31
	#	23		2	32
	\$	24		3	33
	%	25		4	34
	&	26		5	35
	'	27		6	36
	(28		7	37
)	29		8	38
	*	2A		9	39
	+	2B		:	3A
	,	2C		;	3B

セット



設定終了



設定開始



Full Ascii Code39 表(3)

Code39	Ascii	HEX	Code39	Ascii	HEX
	<	3C		K	4B
	=	3D		L	4C
	>	3E		M	4D
	?	3F		N	4E
	@	40		O	4F
	A	41		P	50
	B	42		Q	51
	C	43		R	52
	D	44		S	53
	E	45		T	54
	F	46		U	55
	G	47		V	56
	H	48		W	57
	I	49		X	58
	J	4A		Y	59

セット



設定終了



設定開始



Full Ascii Code39 表(4)

Code39	Ascii	HEX	Code39	Ascii	HEX
	Z	5A		i	69
	[5B		j	6A
	\	5C		k	6B
]	5D		l	6C
	^	5E		m	6D
	_	5F		n	6E
	`	60		o	6F
	a	61		p	70
	b	62		q	71
	c	63		r	72
	d	64		s	73
	e	65		t	74
	f	66		u	75
	g	67		v	76
	h	68		w	77

セット



設定終了



設定開始



Full Ascii Code39 表(5)

Code39	Ascii	HEX	
	x	78	
	y	79	
	z	7A	
	{	7B	
		7C	
	}	7D	
	~	7E	
	DEL	7F	

セット



設定終了



付録 3**クイックメニュー**

ご注意：このメニューは Z-3080-USB の旧ファームウェア製品 (RoHS 指令未対応) に使用してください。

設定内容：Code39、Code128 などの記号を日本語 Windows に正しく出力する。

バーコードデータのあとに TAB を付加する。

順番	内容	設定用バーコード
1	設定開始	 * . . *
2	初期化	 * _ _ *
3	インターフェースの設定 USB キーボードインターフェース	 * K E 9 7 *
4	キーボードレイアウト インターナショナル	 * K L O 3 *
5	ターミネータ 無し	 * D T 1 1 *
6	ファンクションキー変換 変換する	 * C P O 5 *
7	後置文字	 * H T O 2 *
8	TAB(Ascii=HT、Hex=09) *TAB を複数設定する場合は付加する 回数分読み取ってください	 * \$ I *
9	セット	 * S E T *
10	設定終了	 * + - *

付録 4

テスト用バーコード 動作確認などにご使用ください。

JAN-13



JAN-8



UPC-A



UPC-E



Interleaved2of5



NW-7(Codabar)



Code39



Code128



【発行】
株式会社アチーブ
〒230-0051
神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央
4-30-14-2F
TEL:045-508-1877

URL:<http://www.achi-eve.co.jp/>

Z-3080 Rev1.3 Feb 2008
